

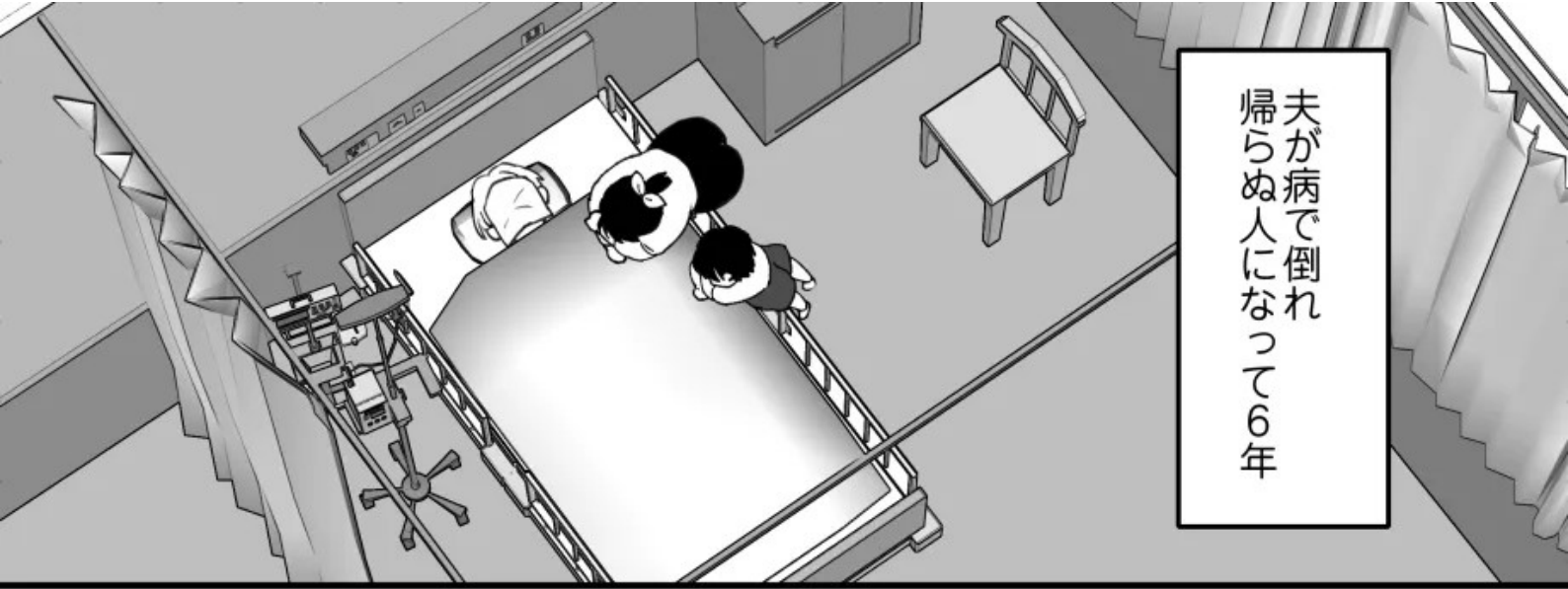
僕の母さんが

親戚の伯父達に

寝取られる

近親相姦
×
NTR





夫が病で倒れ
帰らぬ人になって6年



ずっと
息子の綾人と二人で
必死に踏ん張って
生きてきた



時には
姉弟のように
友達のように…

そして恋人のように
お互い助け合い
愛し合っていたら

気付いたら
いつの間にか
親子以上の
関係性になっていた

あつ綾人…

はあ…
はあ…

はあ…
はあ…
あ…

はあ…
はあ…
あ…

はあ

はあ

ちほ
ちほ

ちほ
ちほ

ああ

ろ

トク…

ええ…
いいわよ

誰にも知られては
いけない
私達だけの秘密

母さん…
もう我慢できない
挿入れていい？

あッ
あッ

あッ
あッ

んあッ

あッ
あッ

あッ
あッ

あッ
あッ

あッ
あッ

母さん
愛してる

綾人…私もよ

ずっとこの幸せが
続くように
願っていた



ええ…!?



どうしたの
母さん?



本家の
お義兄さんの
息子さんか…

え?

あります。
突然のこ
ります。

葬儀は本家にて執り行な
通夜は○月○日の○時
なるべく早めの到着を
よろしくお願いいたします

この度はご愁傷様
急いで支度して結
向かうように致
またそちらに着
らご連絡させ

既読

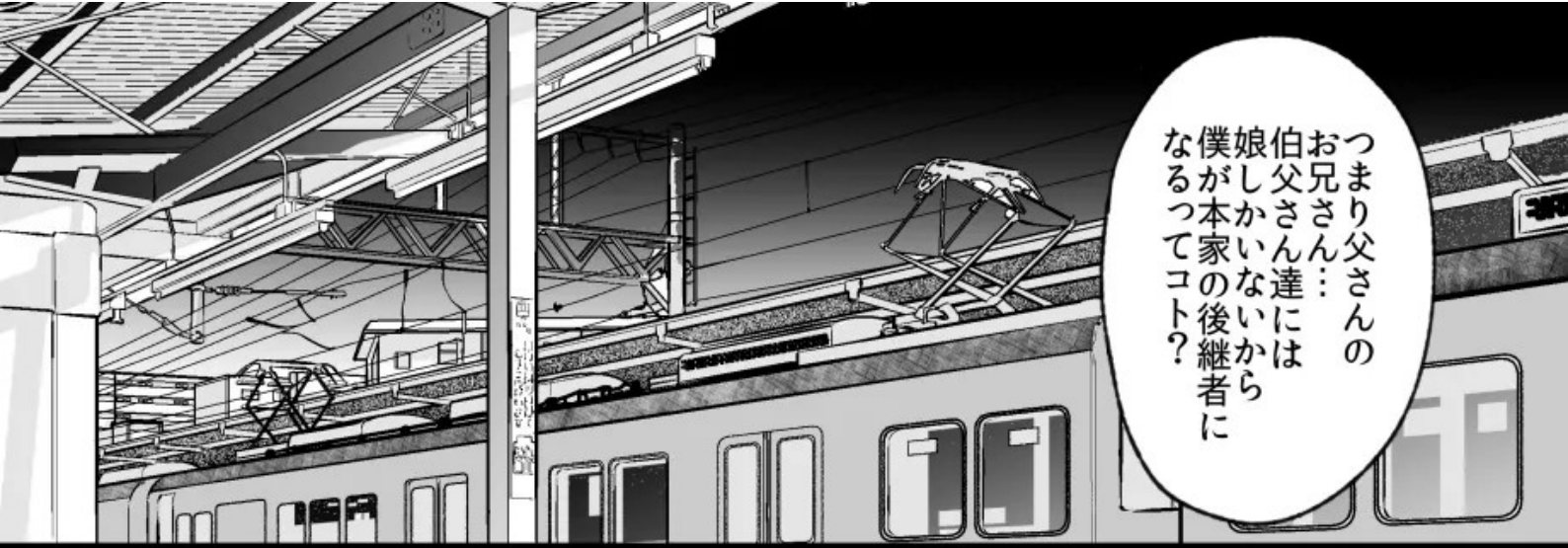


ご無沙汰
しております
この度は突然の事で
誠に皆様ご愁傷様です
誠に心からお悔やみ
申し上げます

ああ…由美さん
久しぶりやなあ

まあ、
大変なコトに
なっちゃったわ





つまり父さんのお兄さん：伯父さん達には娘しかいないから僕が本家の後継者になるってコト？



ええ：でもまだ分からないわ：

だって夫の悟さんが亡くなってからほとんど本家とは交流がなかったんですもの

たぶん婿養子を取られると思うわ



綾人はどう思う？もし、継ぐ事になつてしまったら？



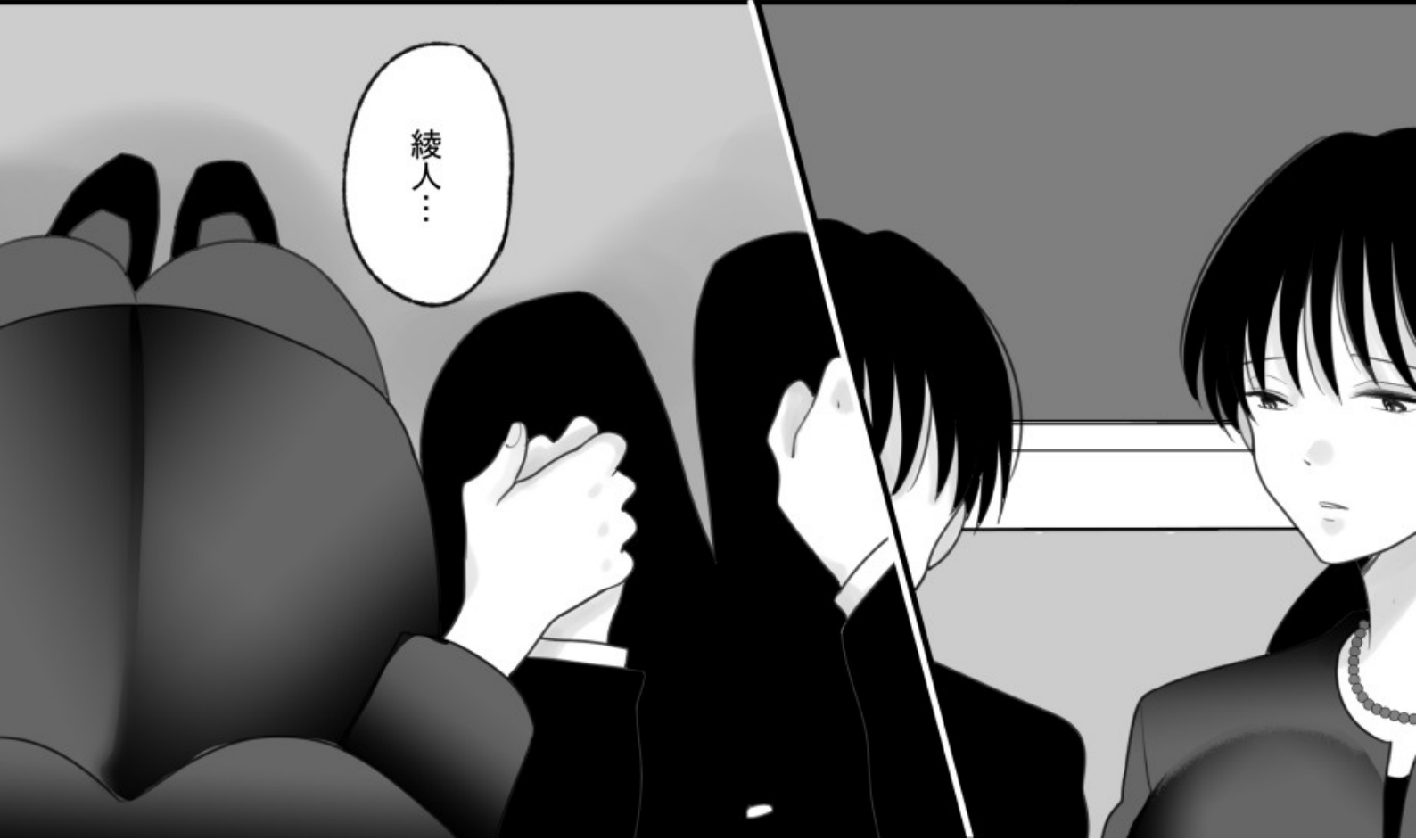
だって、
後継者になるって事は
母さんとは別の人と
結婚しなくちゃ
ならないって事でしょう？



…僕は嫌だな

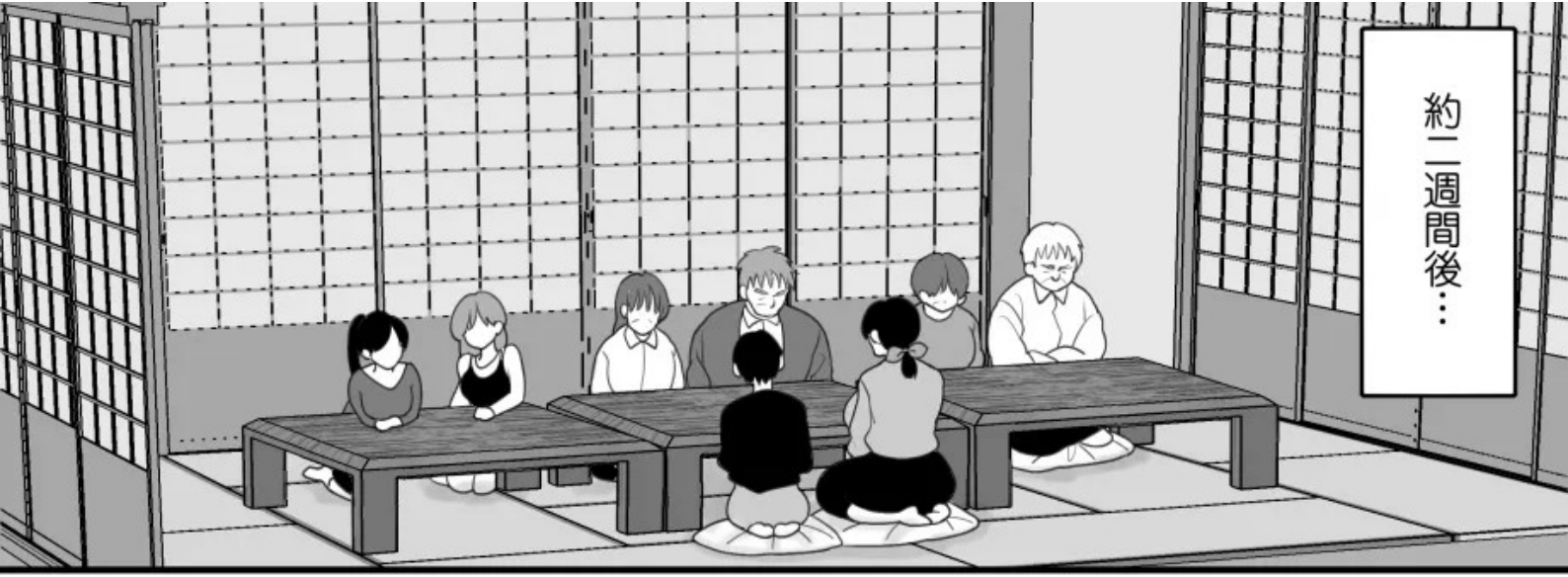


それは嫌だよ



綾人…

約二週間後…





え



ほんなら
ちよつと大人達で
話し合いをするから
お前達は別室へ行くか
外で遊んできなさい



子供達の意見は
反映されないのね…

ええ

じゃあ母さん



：ほな
早速やけど由美さん
この通り私等には
もう娘しかおらん

せやから…先祖代々の
吉田家を守っていく為、
綾人くんはこの本家を
継いでもらう事でええやろか

あの…
そのお話
ですが…



あ、はい
少しだけ
覚えてます

めっちゃ小さい頃
一緒に遊んでてんで？

なあ綾人くん
うちのコト
覚えてる？

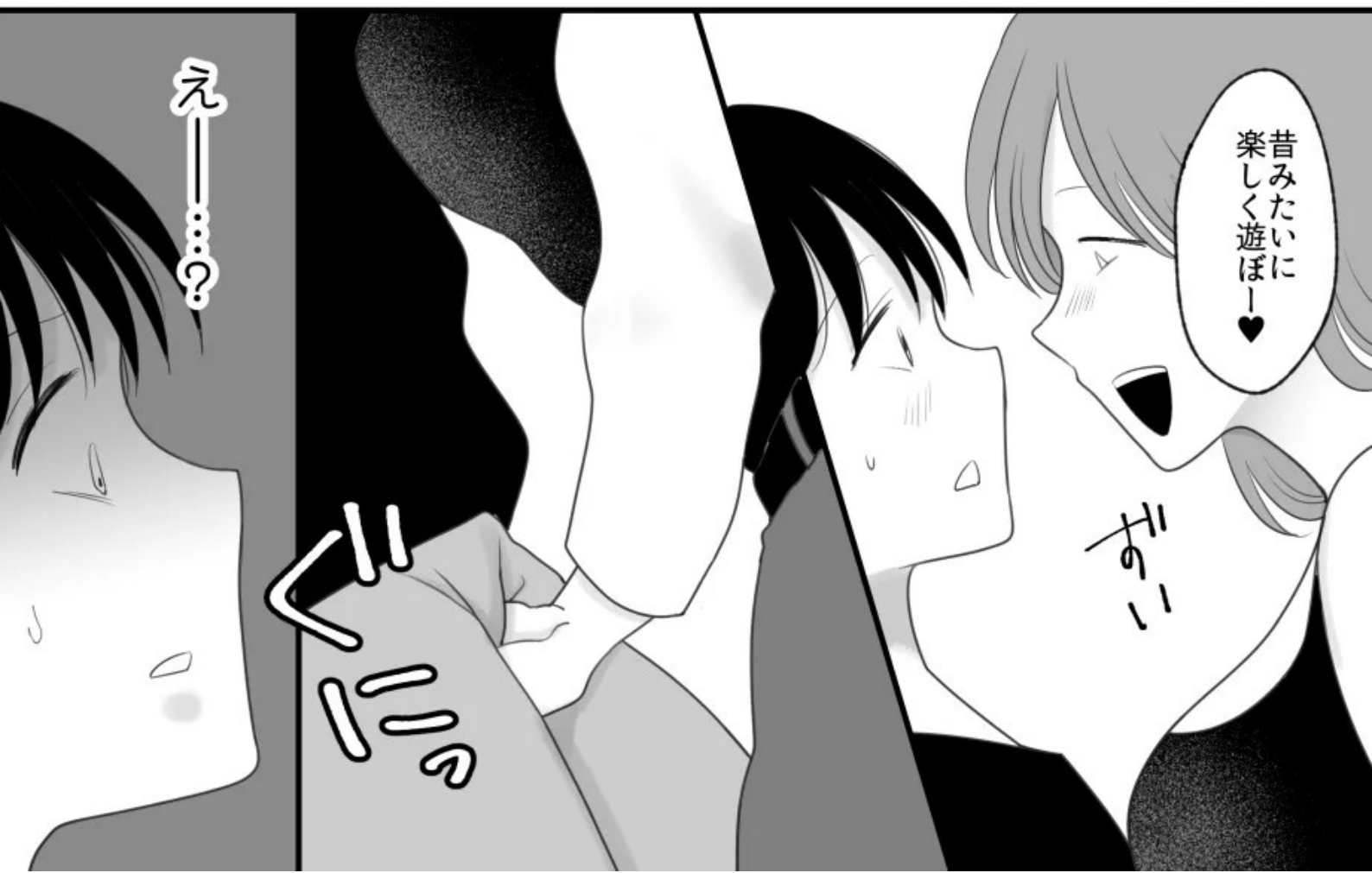


琴(敬二の次女)

あはは！
可愛い！
♥

え、待って？
緊張してる？

加奈(敬二の長女)



え……？

昔みたいに
楽しく遊ぼ！
♥

ハハハ

ハハハ



はい… 私たちでは
務まらないと
思いました



え？
辞退…!?

断るんか？



そんなに
田舎が嫌か？



いえ、
そのような事は…



それは…

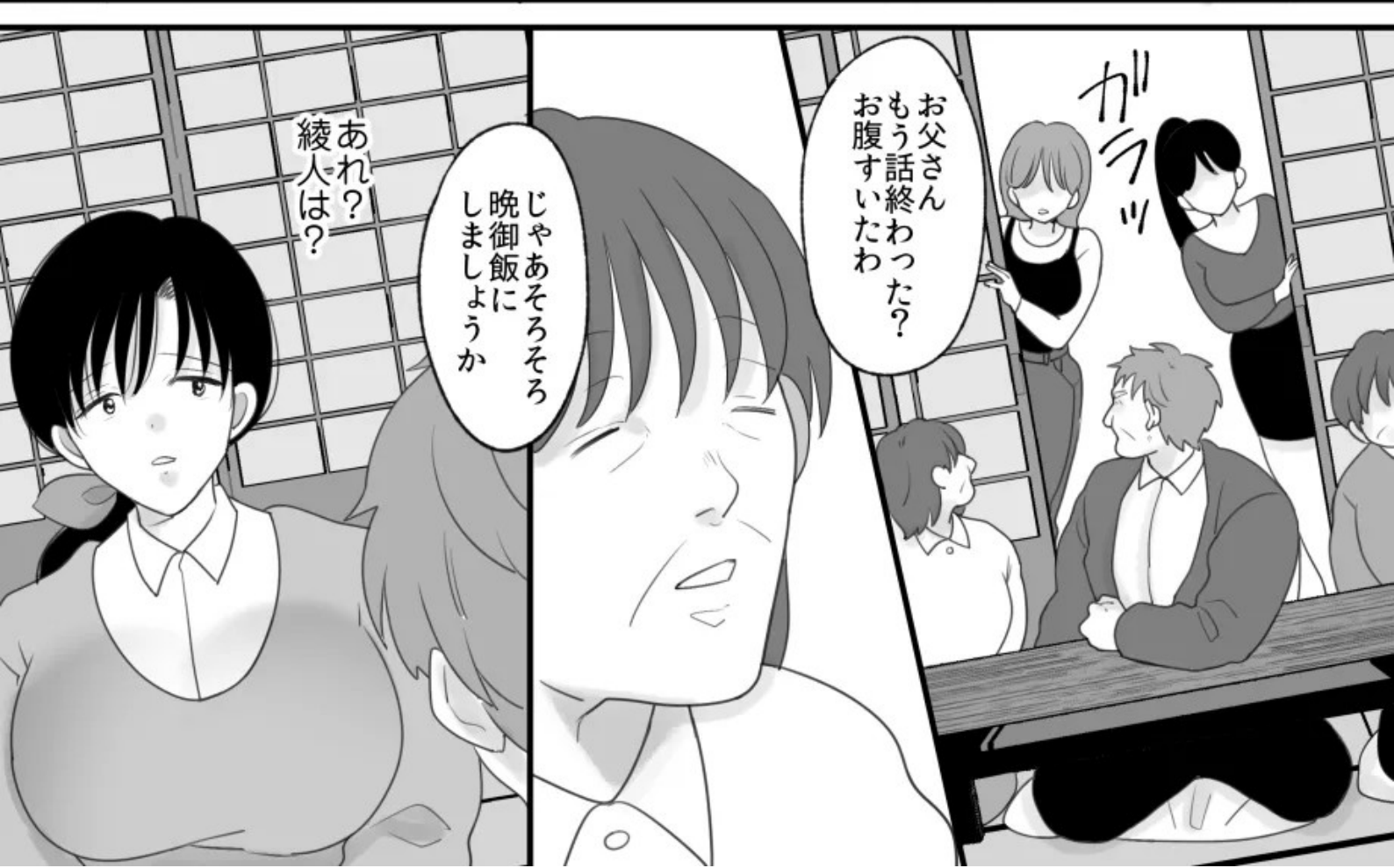
もし
絶えてしもたら
どう責任取って
くれるんや？



わかりました

やけど、
本当に辞退するなら
私等の娘の婿養子探しを
手伝ってもらおうで

まあ、まだ
綾人くんも中学生や
もう少し考えて
決めても遅くはない



あれ？
綾人は？

じゃあそろそろ
晩御飯に
しましょうか

お父さん
もう話終わった？
お腹すいたわ

カラッ











お風呂
上がったよ
母さん



ねえ母さん
後でここで
シてもいい...?

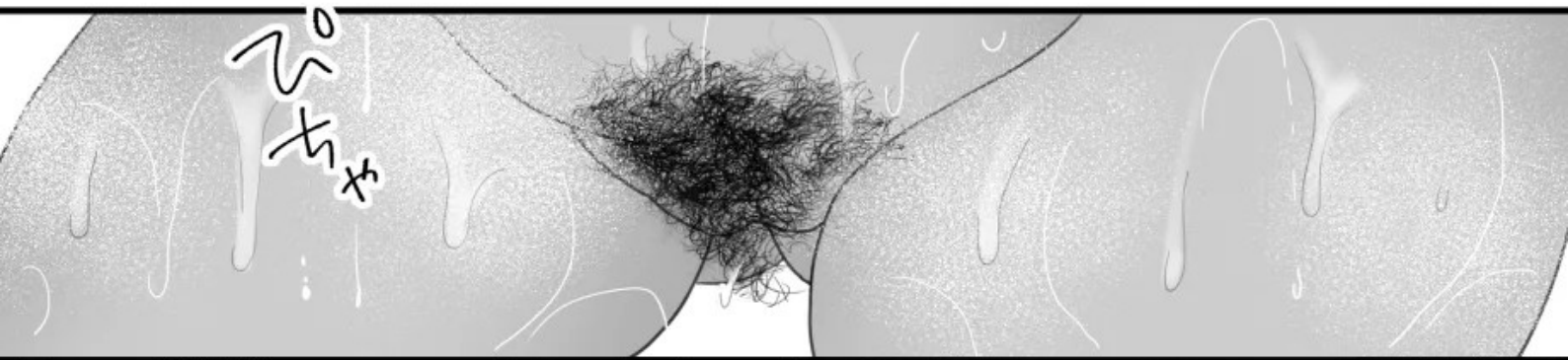
じゃあ母さんも
入ってくるわね

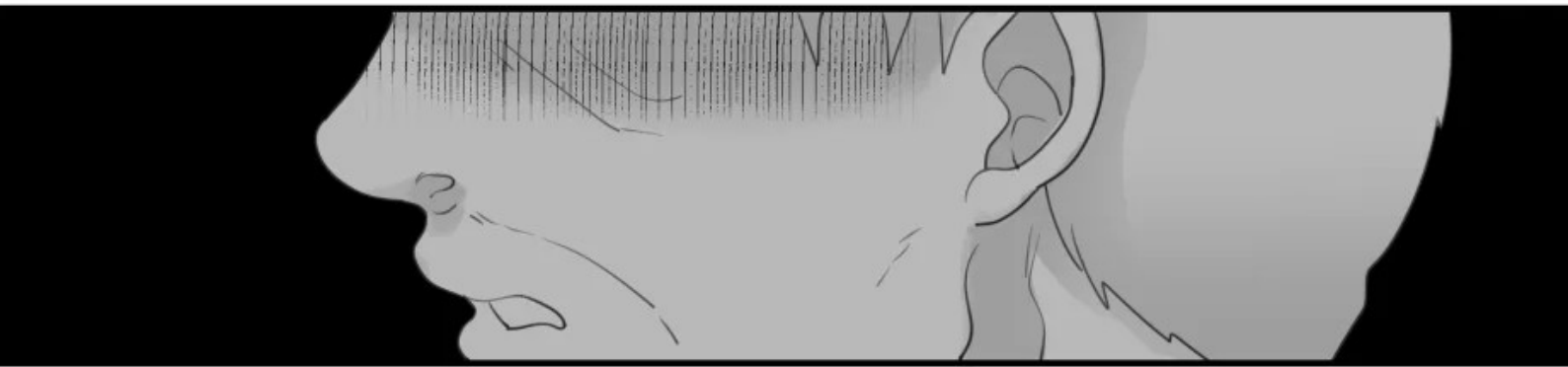


でもわかつたわ...
誰かに気がつかれる...
静かにね...
といけないから

うん









由美…

あ、お義兄さん…
おやすみなさいませ



え…？

ワシはな
聡明で美しいあんたを
嫁にできた弟の悟が
羨ましかった

やからアイツが死んで
正直ザマーみろと思た



でも…
それがアカンかった
天罰が下つて
今度は自分の息子を
失つてしもた

なあ由美…
あんたがアカンねん、
あんたの存在が…
全てをブチ壊したんや



お、お義兄さん…
酔つていらつしやるわ
今、お水を…

あつ

酔つてへんわ!!
こつちへ来い!!

クッ
クッ
クッ



あぁッ

ッ
ッ
ッ
ッ

ワシを
慰めてくれたら
アンタの要求を呑む
どうや?

ここは
母屋の離れや
多少騒いでも
誰も気づけへん





だって、
後継者になるって事は
母さんとは別の人と
結婚しなくちゃ
ならないって事でしょう？

それは嫌だよ



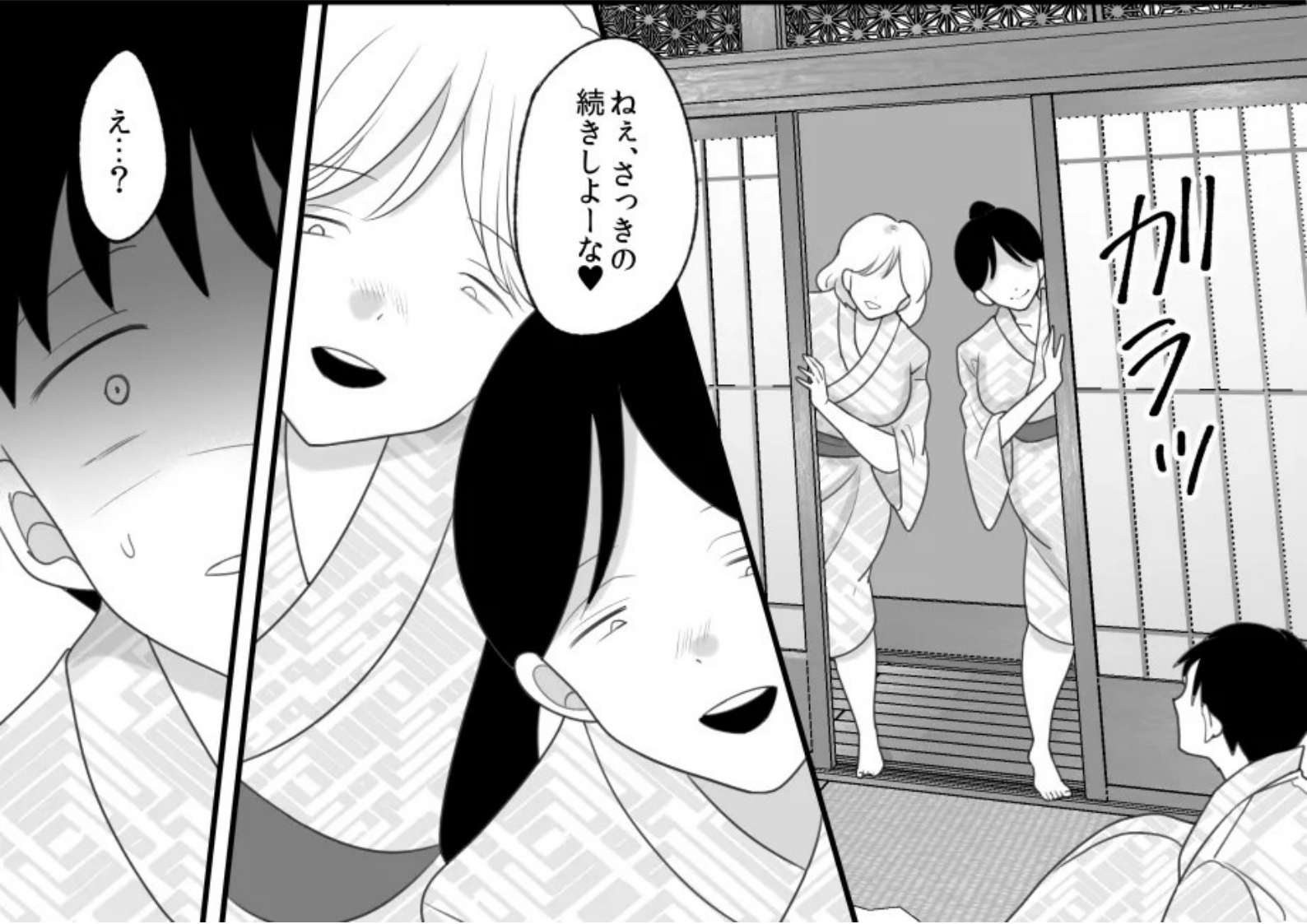
…僕は嫌だな



さすが…
物分かりがええ



わ…、
わかりました







あぁ
おんなのこ
おんなのこ

おんなのこ
おんなのこ
おんなのこ

はぁ
あぁ

おんな
おんな

おんな
おんな

おんな
おんな

おんな
おんな

おんな
おんな
おんな

ほんなら由美、
ワシを楽しませて
くれや

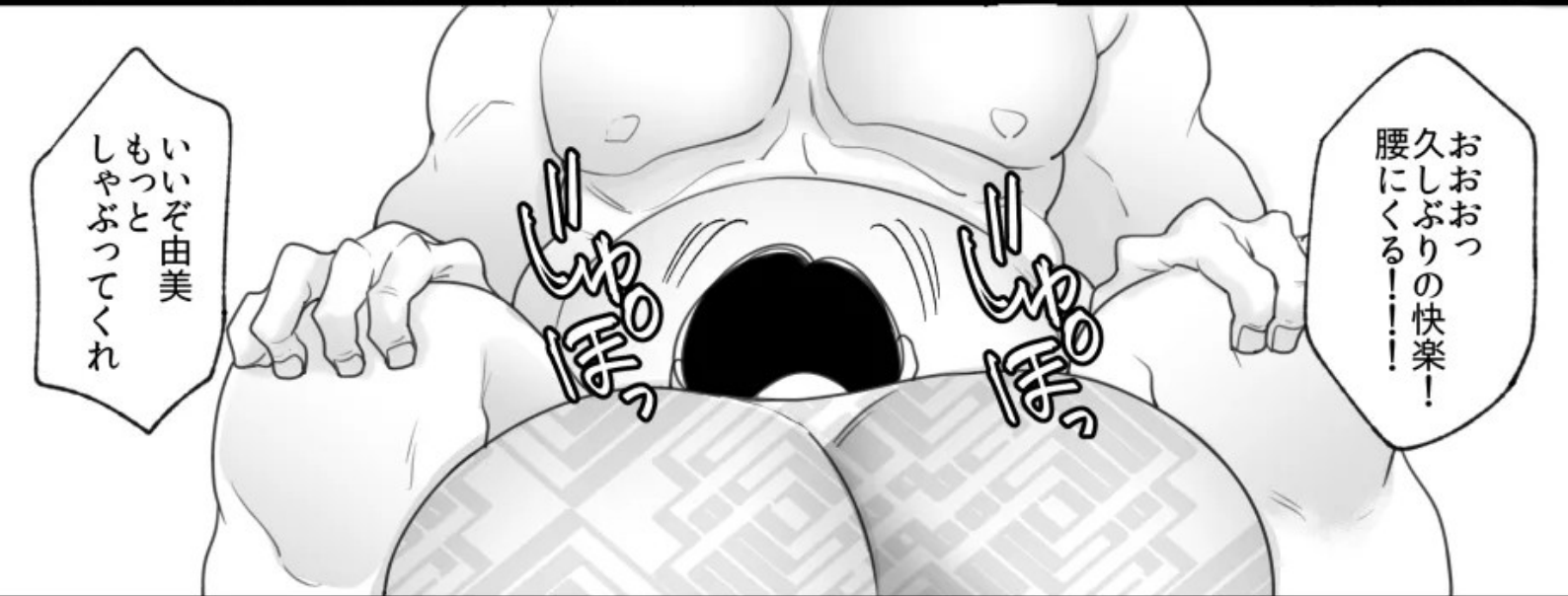


は、はい...



カチヤ
カチヤ

カチヤ
カチヤ



あなた：綾人：ごめんなさい
ほんの少しだけ目を瞑ってください
明日になれば元の私に戻ります
だからお願い：許してください



…ウツ
出る…!!

クッ
クッ



…フン
なかなか
上手いやないか

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ



さあ可愛く
おねだりするんや
由美

ほんなら
悟より立派な息子を
由美のマンコに
ブチ挿入れたる

はー
はー
はー

…はい

じゅ…純一さんの
オチンポを
由美のマンコに
挿入れてください

ほおら



はあ...

しっかり受け止めるんやで...!!!

おっはー

おっはー

おっはー

おっはー

おっはー

おっはー

なあ由美!!お前も久しぶりのチンコに膣内が濡れて濡れて喜んでるんとかやうか!...!!!

おっはー



グッ

あー

あー
あー
あー

あー

ああっ!
膣内が擦れて……!!

息子の綾人に比べて
大きさが全然違う……!!

グッ
グッ

ほおら由美も
気持ちよかったら
もっと声を
出さんかいっ!

腰が砕けそうっ……!!
うっうっうっ……うっうっ……!!

あー

あー

あー

あー

パッ
パッ

パッ
パッ

パッ
パッ

ああっっ！……

もう少し、
もう少しで終わる……

大丈夫、
まだ理性は
保っているわ

早く体を清めて
綾人の所へ
戻ってあげないと

ザッ





ぱんぱん
か

ぱんぱん

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ

あッ

兄さん、此処で勝手なことしたら困る

次にこの家継ぐのは俺の娘や



何言うてんねん
今、由美にワシの
精子をしこたま
プチ込んだんや

これで
由美が男子を
孕んだら、その子を
跡継ぎにするんや

ええっ…!?

なあ敬二
お前も自分の
息子が
欲しいやろ？

ほらアソコに
援護射撃せえ
ワシらの精子で
跡継ぎを
作るんや



それは
なかなか
ええ案や

まさか…そんな…
これ以上は、
体が…理性が…

………

………

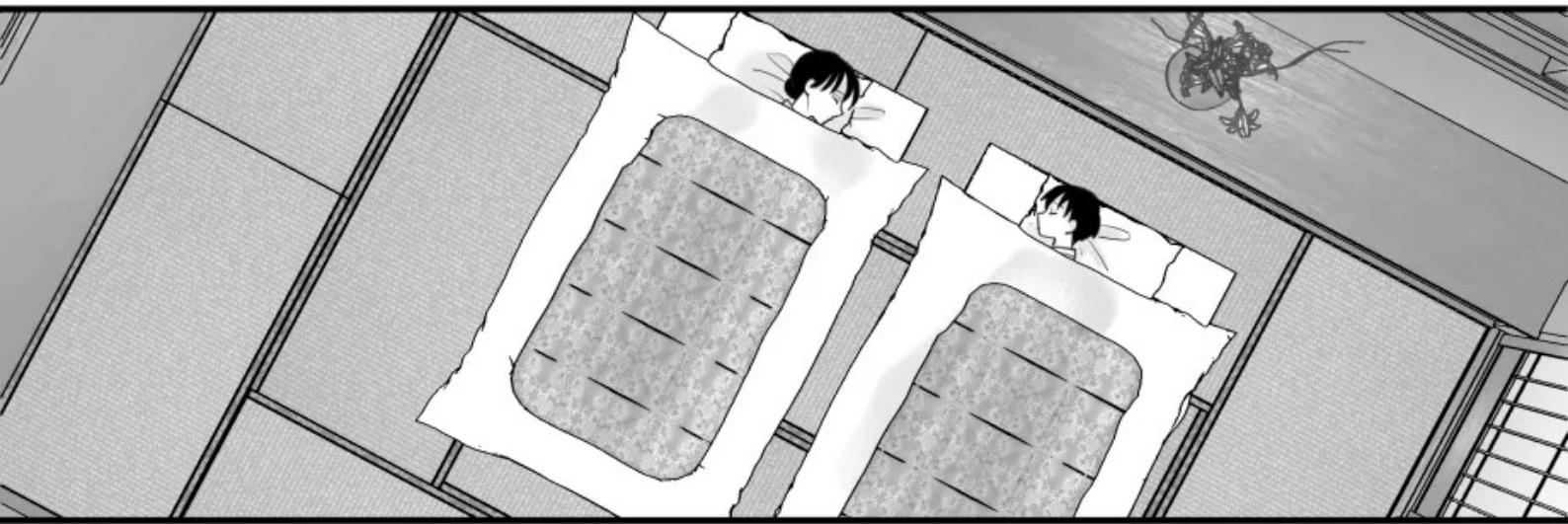


いっ
助けてっ!!

綾人……!!



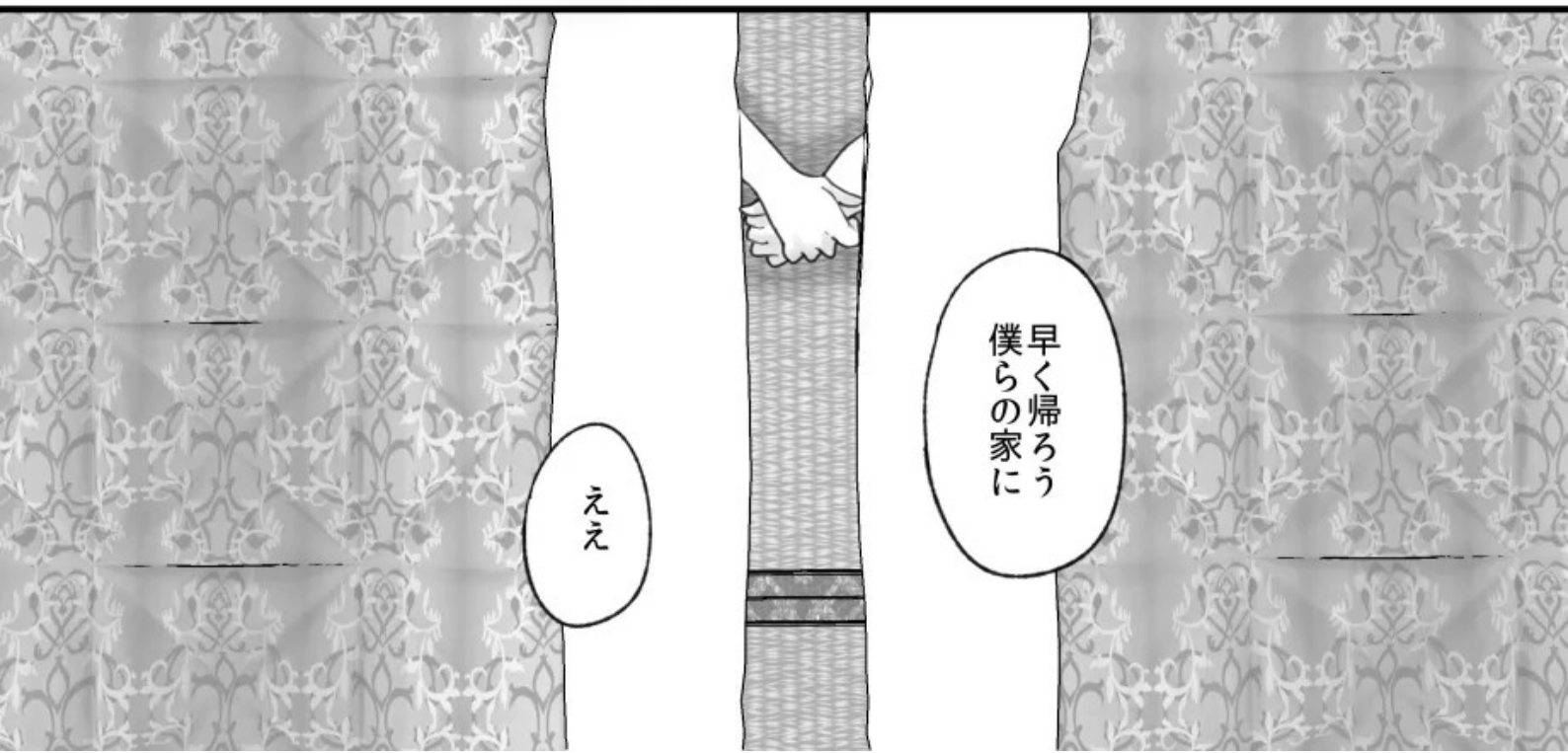




母さん
ごめんなさい

昨日、
疲れて
眠っちゃって…

うん、そうね、
母さんも
知らない間に
眠っちゃったわ



早く帰ろう
僕らの家に

ええ



もう
あれだけのことを
されたのだから
私たちの事は
忘れてもらわないと…



ああ…
なんて日
だったのかしら



それでは
失礼します

これでやっつと
綾人と落ち着いて
暮らせるわ



ええー
もう帰るん？
つまらんなあ

カッ
パッパッ



いや…次は
四十九日の
法要がある

その時には
又来てもらうで